

会 議 録

会議の名称	令和7年度 深川市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進協議会 会議
開催日時	令和7年8月7日（木） 18時00分開会 19時19分閉会
場 所	深川市役所 3階大会議室
議 題	1. 開会（18：00 開始） 2. 委嘱状交付 3. 市長あいさつ 4. 議事 （1）会長及び副会長の選任について （2）第2期深川市まち・ひと・しごと創生総合戦略令和6年度実績評価について （3）その他 5. 閉会（19：19 終了）
出席委員	18名
欠席委員	5名（太田春夫委員、木村一典委員、佐々木弘有委員、河村健太郎委員、早川達也委員）
事務局	企画総務部まち未来推進課企画係 4名 (佐藤部長、高田課長、野地係長、鶴岡主事)
会議資料	【資料1】議案 【資料2】委員名簿及び実績評価班編成表 【資料3】第2期深川市まち・ひと・しごと創生総合戦略令和6年度実績評価 【資料4】令和6年度総合戦略実績評価一覧 【資料5】意見書 【資料6】質問一覧
会議の概要（発言要旨）	
発言者	議題・発言・結果等
田中市長	3. 市長あいさつ ・本日は夜分遅くに出席いただきお礼申し上げます。 ・先ほど委嘱状を交付させていただいた。これから2年間よろしくお願ひしたい。 ・東京都以外の道府県ではすべて人口減少が進んでいる。北海道でもほとんどの自治体の人口が減少している。一極集中をなくし、地方に人を戻すことは非常に困難。 ・深川市としてどんなことがより良いことにつながるか考えていかなければならない。 ・第3期の計画が今年4月から始まっている。本日は昨年度の実績について忌憚ない意見を頂戴し、次の計画へ繋いでいきたい。
遠藤会長	4. 議事 （1）会長及び副会長の選任について

	・会長のご指名を頂戴した。 ・総合戦略については、開始して10年が経過している。 ・今年から新しい総合戦略が始まった。 ・各委員の皆さんから意見を頂戴し、市のまちづくりへ発展していけたらと思うので、ご協力お願い申し上げます。
小林副会長	4. 議事 (1) 会長及び副会長の選任について ・総合戦略の見直し等のタイミングで大学の撤退となってしまう心苦しいところ。 ・総合戦略が開始して10年ということだったが、拓殖短大は11年前に地域振興ビジネスコースを作り、まちづくりをいかにしていくかという取り組みをしていた。 ・今年は110名程度の学生が在籍している。来年は90名程度の学生数となる見込み。 ・残りの期間全力を挙げて深川のまちづくりに取り組んでいきたい。
事務局 (鶴岡主事)	4. 議事 (2) 第2期深川市まち・ひと・しごと創生総合戦略令和6年度実績評価について <u>資料及び今年度の評価方法について事務局から説明</u> ■「資料3 第2期深川市まち・ひと・しごと創生総合戦略令和6年度実績評価について」 ・第2期総合戦略では、計画期間における各種施策を着実に推進するため、総合戦略の実施状況や効果を検証し、必要に応じて見直しを行うPDCAサイクルを実施することとしている。 ・評価の流れは、庁内で自己評価を行い、外部有識者に評価いただき、庁議、市議会決算審査特別委員会で図ることとしている。 ・評価方法については各施策の評価を担当課ごとに行っているため、本日、数値目標とKPIを対象として委員の皆様からご意見等いただき評価とする。 また、担当課責任者の評価について反対意見等がなければ、担当課責任者の評価どおりとする。 ■「資料4 令和6年度総合戦略実績評価一覧」 ・各数値目標と、KPIを評価するシートとなっている。 ・昨年度の推進協議会における意見を踏まえ、様式の変更を行った。 ・それぞれに当該年度の実績値、目標値の達成状況、今後の改善点等、施策評価を記載しているもの。
遠藤会長	事務局から、資料内容と評価方法について説明があったが、質問等はないか。 なければ、事務局から提案のあった形で実績評価を行うこととする。
事務局 (鶴岡主事)	4. 議事 (2) 第2期深川市まち・ひと・しごと創生総合戦略令和6年度実績評価について <u>令和6年度実績評価について事務局から説明</u> ・資料4を用いて、R6評価の説明をする。 ・R6実績は、実績値が目標値を上回ったものが28項目、実績値が基準値より改善したものが13項目、実績値が目標値、基準値ともに下回ったものが15項目となった。なお、事業終了などにより評価なしとなっているものが2項目となっている。 ・施策評価については、継続、継続発展、見直しの三つから選択することとしており、評価の詳細について「評価の視点」に記載している。 ・評価の割合は、継続が48項目、継続発展が2項目、見直しが9項目、評価を行わないものが2項目となっている。 ・これらの評価に対して、事前に質問を4件いただいている。配付した質問一覧表により事務局から説明する。 ・質問1、基本目標1主要作物作付面積と農産物生産量について、水稻生産量の目標値

	は10a当9.3俵だが、実績値は10a当7.6俵となっており、開差の原因について聞きたい。 【回答】猛暑の影響で品質が低下し一等米の比率が減少したことによるものと考えられる。 イネの穂が出た後に高温が続くと、コメの内部に亀裂が生じてしまう“胴割れ粒”やでんぷんの形成が悪く白く濁ったように見える“乳白粒”などが生じる。これらのコメは出荷段階で取り除かれることから、単収低下の要因となるもの。 ・質問2、基本目標4の無電柱化路線について、インターロッキングブロック舗装の雑草対策が大変だが、どのような管理をしているのか。 【回答】必要に応じて適宜除草していく。 ・質問3、基本目標4基本目標4の門口・通路除雪の相談対応件数、家周り等除雪の相談対応件数について、除雪センターがなくなり、窓口が分散化することになるのか。 【回答】福祉除雪については社会福祉課福祉庶務係が担当窓口となり、今後も福祉除雪を必要とする方への除雪事業者等の情報提供は変わらず継続していくもの。なお、福祉除雪以外の相談等については、従前と同様に情報提供するなど、市道除雪の担当所管と協力し対応に努めていく。 ・質問4、基本目標4の自主防災組織率について、「狭義の定義」とあるが、目標値を定めた時と計算方法が異なるのか、ほかに定義はあるのか。 【回答】消防庁が実施する消防防災・震災対策現況調査等においては、自主防災組織の定義として、自主防災組織の規約を独自に作成しているもの、町内会や自治会の規約に「防災に関する事項」の記載があるもの、防災に関する活動の役割分担が地域住民の合意によって定められているもの、のいずれかの要件で自主防災組織としている。本件に関しては、最も狭義な自主防災組織の規約を独自に作成しているもののみを集計の対象としていたが、今後においては、3種の要件全てで自主防災組織として計数し、組織率向上に向けた活動を行う。 ・事前にあった質問は以上。 ・このほか、施策についての意見が寄せられていたため、担当所管へ情報共有させていただいている。 ・また、実績検討の際施策ごとに班を分けて意見徴収することについての意見もいただいた。これについては、意見を踏まえ、来年度の第3期まち・ひと・しごと創生総合戦略実績確認から、区分けを廃止し、広く意見徴収を行う予定。 ・反対意見等がなければ、各施策について担当課責任者の評価どおりとさせていただきたい。 ・評価についての説明は以上。
遠藤会長	・事務局から実績評価について説明があったが、質問等はないか。
三ツ井委員	・インターロッキングを一度敷設して、凹凸が目立つので舗装に戻し、今回の無電柱化に伴い再度インターロッキング化している。雑草取りを高齢化に伴ってできなくなることもあり、また凹凸が生まれたら舗装しなおすのだろうか。普通の舗装でもいいのではないかと思う。 ・企業誘致に関して、どういうところから参入しているのか。
事務局 (高田課長)	・インターロッキングについて、今回無電柱化を行っているところが道道であり、市では通常の舗装を要望していたが、最終的にはインターロッキングとなった。雑草や凹凸については、現状が確認された際には北海道に連絡し、修繕等を行うもの。 ・企業誘致については、後日回答させていただく。(後日確認：4件すべて製造業からの参入となっている。)
遠藤会長	・森岡委員から、移住定住に絡めて何か提案はあるか。
森岡委員	・移住定住サポートセンターにおいて、長い目で見た協議がなされていないと思う。 ・沼田町などは長い目で見た計画が作られている。 ・今から10年、20年後についてを考えて施策を進める必要があるのではないか。

	・ 水稻の関係について質問させていただいたが、全国と比べ差が大きい。「出荷段階で取り除かれる」というが、どの段階のことなのか。また、今は農家に直接買い付けに来る業者も多いが、その数字は反映されているのか。
村上委員	・ 「出荷段階で」ということだが、胴割れ、未熟、青米など、農協に出してから色彩選別機ではじかれる。 ・ 今年は本州の方でも、渇水等でほとんど米がとれない状況。今年もコメ不足が予想される。 ・ 北海道は雨で潤っており、出来が期待される。
事務局 (高田課長)	・ 移住・定住については、長期的な視点を踏まえ今後の施策に生かしたい。 ・ 米については、天候に左右されることもあるが、農家の皆様や JA きたそらちの皆様 の尽力により、美味しいお米を提供してもらっている。
遠藤会長	・ 基本目標 4 について、三木田委員から意見はあるか。
三木田委員	・ 人口が減ってきているため、患者数も減少しており、また物価高騰も相まって病院経営は厳しい状況。 ・ 深川市には大きい病院が 4 つある。充実している状況だが、今後維持できるかどうか。若い人が減っており、看護学校も経営が厳しくなっている。
事務局 (高田課長)	・ 人口減少は日本全体の問題となっている。総合戦略に基づき頑張っていこうとしているところだが、中々歯止めがかからず四苦八苦しているところ。 ・ 診療報酬の改定について、実情を踏まえた改訂を期成会、市長会にて要望している。
遠藤会長	・ 医療、会議所の視点から、永倉委員から何か提案はあるか。
永倉委員	・ 看護・介護の人材不足が起こっている。医療現場だけでなく、企業等でも、働く世代の減少が起こっている。対策は市でも大変だと思う。高等看護学院から市立病院だけでなく医師会会員の診療所・病院へも看護師のあっせんをしていただけたら。 ・ 外国人労働者について、敬遠される動きもあるが、意欲ある労働者もいるので、移住促進をしていただければ人口増につながるのでは。
事務局 (高田課長)	・ 高等看護学院の就職の流れについて、意見を市立病院に提供させていただく。 ・ 外国人労働者についても、一つの着地点として考えなければならない。人材不足解消という面で大きなものになると思う。関係団体の協力を得て協議していきたい。
三ツ井委員	・ 外国人労働者の受け入れに成功しているところでは、サポート体制をうまく築いている。妹背牛などは地域おこし協力隊などに協力してもらっている。
遠藤会長	・ シルバークラブを代表して、山田委員から意見はあるか。
山田委員	・ 50 年後には人口が今の半分となり、高齢者がその中の半数以上を占める状況が示されている。ふるさとから離れたくないというのが人の本心だと思う。札幌等に転出する例が多い中で、高齢者に対応する施策をお願いしたい。 ・ 例えば除雪など、除雪された雪を家の前に残されるのは大変。排雪の充実をお願いしたい。 ・ 交通関係について、市内循環バスなど、駐車場の位置は公共施設中心となっていると思うが、買い物や病院等日常多く利用される地点を停留場として考えてはどうか。
遠藤会長	・ 遠藤委員から農業に関して何かあるか。

遠藤委員	・現在の米の価格については異常なところがあるが、消費者の皆さんには、今までの安すぎたということもご理解いただきたい。 ・非常な高温が続いているが、全道２位の作付面積であるそばについても、収量が減り、麦や大豆へ移行する方も多い。 ・質問にもあった米の収量だが、自分のところに残す米や他業者に売った分もあり、その数字になっていると思われる。 ・近年、深川市では地域おこし協力隊の任用が増えているが、定着率が非常に低い。このことについてお聞かせ願いたい。
事務局 (高田課長)	・深川市では、これまで協力隊の定着率が低い状況にあった。協力隊員の思う将来像をよく聞き取れていなかったこと、深川市にいる中で目指すことが変わったことなどが要因とされる。 ・現在は採用時に目指すものを聞き取った上でサポート体制をとり、期間終了後も定住していただけるよう努力している。近年は少しずつ定着率が改善している。
遠藤会長	・ほかに質問等はないか。 ・この他にないようなので、第２期総合戦略の令和６年度実績評価については、担当課責任者の評価どおりとする。 ・これで、(２)の議題を終了する。 ・最後に、議題の(３)その他に移る。事務局から何かあるか。
事務局 (野地係長)	４．議事 (３)その他 ■「令和５年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金及び物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金対象事業の活用内容」 ・新型コロナやエネルギー・食料品価格の物価高騰の課題に対し、地域の実情に応じてきめ細やかに必要な事業を実施できるよう国から交付されるもの。 ・各地方公共団体において、事業終了後に臨時交付金を活用して実施した事業の実施状況及びその効果について公表することとなっている。 ・昨年については、事業の年度繰越が発生するなど額の確定通知に時間を要し、協議会に間に合わなかったことから、今回の協議会において交付金の活用内容等を説明させていただくもの。 ・この資料は、市ホームページで公表中。 ・令和６年度物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金対象事業については、年度を繰越し事業展開されており、実績がまとまっていないため、来年の協議会にて報告させていただきたい。
遠藤会長	・小林副会長から何かあるか。
小林副会長	・総合戦略を考えるにあたっては、全体像を見る必要があると思う。沼田や秩父別の人口が減って深川が増えれば解決かと言われると違っている。 ・会議にもう少し多様な人がいてもいいのではないか。これから子育てをする人や、アルバイト・パートで働いている人、地域おこし協力隊の人など。
遠藤会長	・ほかに委員の皆さんから何かあるか。 ・なければ、以上で本日の会議を終了とする。